

令和4年（2022年）7月1日

市議会議員様

市長特命参与

PFOS等に係る国からの説明について

本日、防衛省から、PFOS等について市に説明がありましたので、その概要について別紙のとおり報告します。

（事務担当は、市長室国際交流・基地政策課 中村
内線 1370 直通 046-822-8137）

PFOS 等に係る国からの説明について

1. 日 時 令和4年(2022年)7月1日(金)13:00~13:40
2. 来訪者 防衛省南関東防衛局地方調整課連絡調整室長
3. 対応者 市長特命参与
4. 来訪の目的 PFOS等の流出に係る説明のため

5. 概 要

(1) 説明要旨

- ・6月29日夜、米側から、PFOS等を含む排水が米海軍横須賀基地の外に流出した可能性があるとの通報が在り、30日、現地に職員を派遣するなどして情報収集し、事実関係を確認した。
- ・この事実関係の確認において、米側から以下の説明を受けた。
 - ① 米海軍横須賀基地の排水処理場内で泡が確認された。
 - ② 米側によるサンプリング調査の結果、処理場からの排水の一部でPFOS及びPFOAの合算値で50ng/L(ナノグラムパーリットル)以上の値が検出された。
 - ③ 排水からPFOS等が検出された原因は不明であり、現在調査中だが、現時点では特異な泡などは確認されていない。
 - ④ 再度、施設内の排水のサンプリングを実施する。
- ・防衛省から、米側に対して、以下を要請した。
 - ① 今後、判明する事実関係についての速やかな情報提供
 - ② 原因究明と周辺環境への影響の有無の確認、再発防止の徹底
- ・防衛省において、流出場所周辺の海域より海水を採取しており、今後、分析を実施する予定である。
- ・引き続き、事実関係の詳細を確認するとともに、関係自治体及び関係省庁と連携の上、必要な対応を行ってまいります。

(2) 市長特命参与の発言要旨

PFOS等をめぐる問題は日米両政府として取り組んでいるものと承知しているところですが、今回の事案については、大変遺憾。

原因究明と周辺環境への影響の有無、再発防止の徹底と、今後、判明する事実関係についての速やかな情報提供について、別添、要請書のとおり申し入れた。

6. その他

米海軍横須賀基地に対しては、口頭で、原因究明と周辺環境への影響の有無の確認、再発防止の徹底を申し入れた。

横市国第26号
令和4年(2022)年7月1日

防衛大臣 岸 信夫 様

横須賀市長 上地 克明

米海軍横須賀基地における PFOS 等に関する要請について

有機フッ素化合物(PFOS 等)を含む排水が米海軍横須賀基地の外に流出した可能性があり、検査の結果、PFOS 及び PFOA の合算値で 50ng/L(ナノグラムパーリットル)以上の値が検出されたとの連絡を、6月30日に受けたところです。PFOS 等をめぐる問題は日米両政府として取り組んでいるものと承知しているところですが、今回の事案については、大変遺憾です。つきましては、下記について、要請いたします。

記

- 1 原因究明と周辺環境への影響の有無、再発防止の徹底
- 2 国の責任において漁業関係者等へ説明すること
- 3 PFOS 等の米海軍横須賀基地における保有又は使用の有無を明らかにすること
- 4 米海軍横須賀基地において、PFOS 等を保有している場合、泡消火剤の交換を加速すること
- 5 今後、判明する事実関係についての速やかな情報提供
- 6 今後、立入調査等が必要と判断した場合、円滑な調査の実施等に全面的に協力すること